

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【公開番号】特開 2006-74827 (P2006-74827A)
 【公開日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-011
 【出願番号】特願 2005-321688 (P2005-321688)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B	1/16	A
H 0 4 B	1/16	M

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 11 日 (2006.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】受信装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の伝送方式の複数の信号と、第 2 の伝送方式の複数の信号とを含む信号からいずれかの伝送方式の信号を分離する第 1 及び第 2 の分離手段と、
 前記第 1 の伝送方式の信号を出力する第 1 の出力手段と、
 前記第 2 の伝送方式の信号を出力する第 2 の出力手段と、
 前記第 1 並びに第 2 の分離手段及び前記第 1 並びに第 2 の出力手段を制御する制御手段を備え、

前記第 1 及び第 2 の出力手段はそれぞれ前記第 1 及び第 2 の分離手段で分離された信号の受信の状況を示す受信状況情報と、出力の可否を示す出力可否情報を出力する機能を有し、

前記制御手段は、前記第 1 及び第 2 の出力手段のいずれか一方の出力手段が所定の信号を出力する場合、他方の出力手段は前記第 1 の伝送方式の複数の信号及び第 2 の伝送方式の複数の信号夫々について前記受信状況情報と前記出力可否情報とを出力するように制御し、前記他方の出力手段から出力された前記第 1 の伝送方式の複数の信号及び第 2 の伝送方式の複数の信号夫々の受信状況情報に基づいて前記第 1 の伝送方式の複数の信号及び第 2 の伝送方式の複数の信号のうち受信する信号を決定し、又は前記第 1 の伝送方式の複数の信号及び第 2 の伝送方式の複数の信号夫々の出力可否情報に基づいて前記第 1 及び第 2 の出力手段のうち使用する出力手段を決定することを特徴とする受信装置。

【請求項 2】

第 1 の伝送方式の複数の信号と、第 2 の伝送方式の複数の信号とを含む信号からいずれかの伝送方式の信号を分離する第 1 及び第 2 の分離手段と、

前記第 1 の伝送方式の信号を出力する第 1 の出力手段と、

前記第 2 の伝送方式の信号を出力する第 2 の出力手段と、

前記第 1 並びに第 2 の分離手段及び前記第 1 並びに第 2 の出力手段を制御する制御手段を備え、

前記第 1 及び第 2 の出力手段はそれぞれ前記第 1 及び第 2 の分離手段で分離された信号の受信の状況を示す受信状況情報と、出力の可否を示す出力可否情報を出力する機能を有し、

前記制御手段は、前記第 1 の出力手段が所定の信号を出力する場合、前記第 2 の出力手段は前記第 1 の伝送方式の複数の信号及び第 2 の伝送方式の複数の信号夫々について前記受信状況情報と前記出力可否情報とを出力するように制御し、前記第 2 の出力手段から出力された前記第 1 の伝送方式の複数の信号及び第 2 の伝送方式の複数の信号夫々の受信状況情報及び前記第 1 の伝送方式の複数の信号及び第 2 の伝送方式の複数の信号夫々の出力可否情報に基づいて前記第 1 の伝送方式の複数の信号のうち前記第 1 の出力手段が出力する信号を決定することを特徴とする受信装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、

前記第 1、第 2 の伝送方式の信号のいずれか一方がアナログ伝送方式の信号であって、他方がデジタル伝送方式の信号であることを特徴とする受信装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、例えば、自動車などの移動体に用いてデジタル放送やアナログ放送を受信する受信装置とその受信方法に係り、特に、デジタル放送用の受信部とアナログ放送用の受信部の 2 系統を備えた受信装置に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の目的は、安定して信号を受信できる受信装置を提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、特許請求の範囲に開示されている技術的思想を用いればよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明によれば、安定して信号を受信できる受信装置を提供することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 5 】

制御回路 8 からのこの場合のアナログ選局信号 C A 1 は、アナログチャンネル、デジタルチャンネルの区別なく、選局チャンネルを切り換えるものであって、これにより、アナログ受信用選局回路 3 は、チャンネル c h 4 以外のチャンネルを順番に繰り返し選局し続ける（この動作を、以下、スキャンという）。例えば、図 3 において、チャンネル c h 1 , c h 2 , c h 3 , c h 5 , c h 6 , c h 1 , ... の順に選局していく。従って、これら各チャンネルは夫々時間的間隔を置いて繰り返し選局されることになり、制御回路 8 は、アナログ復調回路 4 で検出されるアナログ受信強度情報信号 D A 1 から夫々のチャンネルの受信強度の時間的変化を求めることが可能となる。なお、ここでは、デジタル復調回路 6 で復調、復号中の視聴チャンネル c h 4 をこのチャンネルスキャンから除いているが、このチャンネル c h 4 も含めてスキャンするようにしてもよい。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】